

競技注意事項

- 1 この競技会に適用する規則は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。
- 2 本大会は県高校ユース大会の西播地区予選会である。
 - (1) 県高校ユース大会への出場者は下記の手順で選考する。
 - ① 各種目上位男子7名、女子6名（競歩競技、三段跳とハンマー投は下記の条件あり）が県大会出場資格を得る。
参加申込は、規定に従い各校で行う。
 - ② トラック競技は1次予選をタイムレースで実施し下記の方法で選考する。
☆800m以下の競技は参加者が25名以上の場合、2次予選（2組12名）を行う。
今年度、男子の1年生100m・200m、2年生の100m・200mのみ2次予選を行い、県大会出場者を選考する。
ア 2次予選は、男子2組3着＋1で行う。ただし男子4着以下で同成績（1/1000秒未満の着差）が生じた場合、代表決定レースを行う。
イ 2次予選進出者は規定の12名とするが、12番目の選手が同記録（1/100秒）で複数ある場合は、その人数を加えて番組を編成する。ただし、空きレーンに余裕がない場合は着差（1/1000秒）を考慮して2次レース進出者を決定する。それでもなお、優劣が決められない場合は本人または代理人による抽選で決定する。
ウ 競歩競技は男子2年生18分00秒以内、1年生20分00秒以内、女子2年生21分00秒以内、1年生24分00秒以内の者が県大会出場資格を得る。
 - ③ フィールド競技は次の選考方法とする。
ア 走高跳を除く競技は3回の試技後、上位8名を選び、残り3回の試技を行い選考する。男子7位、女子6位が同成績の場合、抽選により県大会出場資格者を決定する。
イ 走高跳において男子7位、女子6位が同成績の場合、出場資格決定試技を実施する。
ウ 三段跳びは標準記録を設ける。男子は1年生・2年生ともに出場枠に入った選手のうち11m50以上の者とする。女子は1年生・2年生ともに出場枠に入った選手のうち9m50以上の者とする。
エ ハンマー投は標準記録を設ける。男子は1年生23m00以上、2年生30m00以上とする。女子は1年生20m00以上、2年生23m00以上とする。
 - ④ すべての種目において、DNS・DNF・DQ・NMの選手は選考対象にはならない。
 - (2) リレー種目は1、2年生合同で編成することができる。県大会への出場は自由参加とする。
 - (3) 今年度全国高校総体出場者のオープン競技は、フィールド競技はユース予選会との同時開催で実施し走高跳・棒高跳を除く競技の試技数は3回とする。
- 3 ウォーミングアップについて
 - (1) ウォーミングアップは手柄山中央公園を使用すること。ただし、占有使用ではないので一般利用者とのトラブルがないよう注意すること。全天候走路では順方向で使用し、トラックの周回及びハードル・ミニハードル・ゴムチューブ等の利用、占有して使用することを禁止する。
 - (2) 競技場内でのウォーミングアップは競技開始の15分前の8：30までとする。
 - (3) 競技場内第2コーナーから第3コーナーの8レーン外側のエリアは、競技に支障のない範囲でウォーミングアップ場として使用してもよい。審判員の指示にしたがい安全に留意して使用すること。その使用の許可はアナウンスにより連絡をする。
 - (4) 両練習会場とも、投てき練習は危険防止のため一切禁止する。（競技前に練習時間を設ける）
- 4 招集について
 - (1) 選手招集所は、第2ゲート外側に設け、右表の招集時刻にしたがい点呼をおこなう。

招集時刻	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	30分前	40分前
完了時刻	20分前	30分前
 - (2) 場所及び手順
[トラック競技] 上記(1)記載の招集開始時刻に第2ゲート付近競技場外側の集合場所において、競技者係の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード〔右腰につける〕・使用シューズなどの確認）を受け、その後、一斉に入場して出発係による点呼を受ける。
[フィールド競技] 上記(1)記載の招集開始時刻に第2ゲート付近競技場外側の集合場所において、競技者係の点呼（アスリートビブスと使用シューズなどの確認）を受け、その後、一斉に入場してフィールド競技審判員による点呼を受ける。

- (3) 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（競技服装、アスリートビブス・腰ナンバーカード・使用シューズなどの確認）を受けておくこと。
 - (4) 招集完了時刻に遅れた競技者（チーム）は、出場する意志がないものとみなし処理する。
 - (5) 当該種目を欠場する競技者（チーム）は、あらかじめ欠場届（プログラムの末尾に綴込み）を競技者係に提出すること。
 - (6) 腰ナンバーカードは、各学校で用意をすること。1500m、3000m、5000m、3000mW、3000mSCは、招集時に競技者係から配付される。フィニッシュ後、別ナンバー係補助員に返却すること。
 - (7) 競技規則に適合しているシューズであることを、招集時、競技前、終了後に確認することがある。自己のシューズがWAシューズリストに掲載されかつ適合していることが証明できるもの（紙媒体に限る。WAシューズリストをプリントアウトしたもの）を携行しておくこと。
- 5 リレーのオーダー用紙は、各種目1組の招集完了時刻の2時間前から1時間前までに記録室へ提出すること。（オーダー用紙は、学校受付時に配付する）
 - 6 選手の生命に危険があると判断できる場合、競技の進行に著しく影響があると判断できる場合には、審判長の権限によりレースを中止させることがある。また、5000m、3000mにおいて先頭に一周抜かれた場合にもレースを中止させることがある。
 - 7 トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。
 - 8 レーンを使用するトラック競技において出場者が8名以下となった場合、組を合併してレースを行う場合がある。この場合、腰ナンバーカードは競技者係より配付される。フィニッシュ後、別ナンバー係補助員に返却すること。
 - 9 1・2年生女子3000mと1・2年生男子・女子3000m競歩はそれぞれ同時スタートとする。スタートは1列とし女子3000mは2年生がイン・1年生がアウト、3000m競歩は男子がイン・女子がアウトで、プログラム記載順に整列する。
 - 10 やりは、検査を受けて自己のものを使用することができる。
 検査場所 玄関ロビー
 検査時間 第二日目 男子 11:00 女子 8:30
 - 11 競技場が全天候舗装のため9mm以下の全天候型スパイクピンの付いたシューズを使用すること。ただし走高跳・やり投は12mm以下とする。なお、姫路市陸上競技場の規定により、競技出場時のみニードルピンスパイクの使用を許可する。また、投擲シューズにおいてWA認証シューズでスパイクピンを外したとしても、サークルで使用することはサークル保護の観点より禁止する。
 - 12 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。また、バーを破損した場合は弁償すること。
 男子 走高跳 1m30(練習) 1m75 までは、5cmきざみとする。以降 3cm
 女子 走高跳 1m20(練習) 1m45 までは、5cmきざみとする。以降 3cm
 代表決定の為のバーの上げ下げは、走高跳では2cmとする。
 - 13 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。
 フィールド競技では競技場所に近接した観客席の一角にコーチ席を設ける（コーンで区画する）。選手とコミュニケーションをとる、動画再生機器で録画画像を見る場合は、この場所でおこなうこと。走幅跳・三段跳において、動画再生機器により試技の映像を見る場合は、第4コーナーの側壁部分（コーンで区画する）のみ可とする。スタンドから身を乗り出して手渡しをする、動画再生機器に紐などをくくりつけて渡すなど、危険な行為はしないこと。
 - 14 リザルトの発表は掲示せず、アナウンスによる一部発表とともに指定のWEBページに掲載する。
<http://seibanrikujou.gl.xrea.com/>
 - 15 競技場内および手柄山中央公園での移動中の日傘の使用は、安全確保の観点から禁止する。

